

# 福岡県通信制高校連絡協議会 通信制高校教職員研修会報告

令和4（2022）年2月21日（月）16:30～

講師：「ぼちぼちの会」会長 木村 素也

講演：『学校で困り感を持つ子どもがなぜ通信制高校を選択するのか』

福岡県通信制高校連絡協議会主催で令和4年2月21日（月）16:30から職員研修を実施しました。当初は会場に集まって行う予定でしたがコロナ禍の中、オンラインでの実施となりました。講師は「ぼちぼちの会」会長として活躍されている 木村 素也 先生です。

講演の中で、通信制高校に進学したきっかけや情報選択の方法などが示されました。各種のアンケートから生徒、保護者の期待など具体的に確認した後、その温度差についてもお話しされました。通信制高校の特色を確認した後、卒業するときどんな生徒になりたいのか…そのためにもどんな高校生活を目指すのか。通信制高校に求められることをまとめて挙げられました。保護者や生徒の実態を客観的に把握することによって見えてくるものがありました。後半は職員としての通信制高校の指導課題を挙げ、その解決法などを説明されました。最後にまとめとして、「指導者としてではなく支援者としてかわる」ことの重要性を話されました。60分の講演の終了後、質疑応答など日頃の悩みなどに助言をいただきました。当日は連絡協議会参加の各高校の先生やカウンセラーなどが参加され充実した研修が行われました。今後もよろしくお願ひします。

令和3年度  
『福岡県通信制高校連絡協議会 通信制高校教職員研修』

「学校で困り感を持つ子どもが  
なぜ通信制高校を選択するのか」

令和4年2月21日（月）16:00～  
講師 木村 素也  
主催：福岡県通信制高校連絡協議会

通信制高校を選んだ理由ときっかけ  
【通信制高校生徒・保護者アンケート調査報告書】

通信制を選んだ理由は親で微妙に異なるが、通信制の登校スタイル（弾力的な進学日数や学習の形態など）を理由にしている。

きっかけで多かったのは「親に紹介された」からです。その他ほとんどが、保護者からの情報提供です。

保護者が行う通信制高校の情報収集は、差別化、Webサイトや新聞掲載広告、通信制進学ガイドブックなどあらゆる言えは特約なものから始めて、気になる学校が見つければ、学校説明、合同相談会参加など行動にうつっていきます。

通信制高校の指導課題

- 多様化する生徒層（学力格差、意欲・経験格差、保護者の理解・協力度の格差等）への対応
- 発達障害や特別支援の必要な生徒の指導
- 低学力や学習意欲の低い生徒の教科指導
- 登校につながらない登校意欲の低い生徒の指導
- 経験の浅い若手職員においては保護者対応・連携で苦戦する